

後藤 夢 郎 （むつ） 舊上佐藩士、政治家。天保九年二月十九日上佐
 國生乳、明治二十年八月四日歿（六六一七）。遺元帥、字自暉、幼名
 保瀬太、良輔。號陽谷居士、雲齋。航海術、蘭學等を學び、藩政の中
 心となる。藩士山内豐信（むねのぶ）（谷屋）の建議して將軍徳川慶喜（よしひら）の大臣奉還
 を建白。維新後參與、參議等歴任。明治六年征韓論の敗れ辭職、翌年
 板垣退助等と愛國公黨を結成し、民権議院設立建白書を左院に提出。
 十四年板垣の自由黨幹部、翌年外遊、二十年及び政府大同團結運動を興
 す。のち逋信相、農商務相歴任と、醜聞のあり、二十七年辭職。伯爵。
 著書『政治社會大家演說集』（公書、明治二十年十一月吉澤嘉太郎（よし）編輯、
 小林善右衛門（よし）發行）等。
 文獻、酒井忠誠著『明治十八年政變盛衰記―後藤陸奥―』氏去就論』（明治十
 七年二月十日酒井忠誠刊、思誠堂）、武藤嘉十郎著『漫遊大同團結―
 附録伯爵後藤夢郎君小傳』（明治二十一年十一月二十一日佐藤成文
 堂）、矢田拙堂著『龍馬と夢郎』（昭和十七年八月五日霞ヶ關書
 房）等。

